



南が丘通信

教育目標

進んで学び深く考え、積極的に行動する人
思いやりの心を持ち、互いに協力する人
心身ともに健康で、創造力のある人

練馬区立南が丘中学校

校長 宮田 健史

〒177-0035

練馬区南田中 4-8-23

TEL 03-3904-5782

URL [https://www.nerima-](https://www.nerima-tky.ed.jp/minamigaoka-j/)

[tky.ed.jp/minamigaoka-j/](https://www.nerima-tky.ed.jp/minamigaoka-j/)

令和5年度 第8号 令和6年2月16日発行



進路 ≠ 受験

進路指導主任 大久保 秀時

3年生は今、この春からの自らの進路へ向けて、一生懸命に準備を進めているところです。東京都内の高校では1月中旬に推薦入試、先週2月10日(土)より都内私立高校の一般入試が実施されました。2月21日(水)には都立高校の一般入試が予定されています。本校では2年生の3学期に「上級学校を選ぶにあたって」必要な基本的な知識や情報を生徒に伝えています。現3年生も、自分が進むべき道とは何だろうか、という難問にひとつの答えを出すべく、ラストスパートの最中です。

今年度より、全ての都立高校は推薦募集と第一次・分割前期募集においてWEBによる出願を取り入れました。私立高校では一足先に導入する学校が多かったのですが、全国的に見ても、いよいよ公立高校でもWEB出願が取り入れられています。これまでの出願は、願書用紙に必要事項を記載し、担任の先生がチェックをした上で校長が証明をして、決まった日に高校へ願書を提出し、受験票を受け取ってくる流れでした。しかし現在は、わざわざ提出に出かけなくても、出願サイトに情報を入力し、必要書類を郵送で高校へ送付し、ネットで受験料を支払い、受験票も家庭でプリントアウトするという流れが主流です。機械やPCが得意ではない世代には、なかなか大変な時代になったと感じています。

さらに都立高校のWEB出願では、前述の流れの中に「中学校が入力された情報を確認し承認する」という一手間が増えられているため、家庭と学校で足並みを揃え、しっかり情報共有をしながら出願の手続きをする必要もありました。生徒本人や家庭の作業だけでは出願の作業が完了しません。本校ではご家庭も学校も色々と戸惑いながら、無事に出願作業を終えることができました。今後ますます、ご家庭と学校が連携を取りながら進路指導を重ねていく大切さを改めて感じました。今年度3年生の保護者の方には、慣れない作業にも十分ご対応いただき、感謝しております。

さて、私は進路指導主任を任されています。ただ、学校で「進路指導」というとき、どうしても「進路=受験」というイメージから離れることができず、もどかしい思いをすることがあります。もちろん、中学校卒業後(=義務教育修了後)の行き先を決めることは、とても重要なことですが、決して受験や入試の指導だけをするのが「進路指導」ではないことを、生徒やご家庭の方々にご理解いただきたいと感じています。小中学校には「総合的な学習の時間」という授業があります。これは9教科の授業だけでは十分に伸ばすことのできない、生徒の「生きる力」を伸ばすために位置づけられています。これからの人生において課題に直面したとき、その課題をどうやって解決させていくか。そのための情報収集や取捨選択、自己を管理する力、コミュニケーション能力などを育むのが、この授業の目標です。そのため、学校の儀式的な行事や運動会、文化発表会、さらに校外学習や修学旅行などの取り組みについても、自らの役割を果たしながら他者との協働的な活動をどのように進めていくかを考え、体験し、生徒自身の「生きる力」を伸ばすチャンスであると捉えています。この「総合的な学習の時間」や「道徳」、「特別活動」などを全て含め「生きる力」を育てていくのが「キャリア教育」です。このキャリア教育を充実させることは、進路指導部の大きな目標です。

いよいよ3年生は卒業まで残り1ヶ月。中学校卒業と同時に、義務教育の終了です。ただ「行き先が決まればよし」とするのではなく、今後の人生において「課題に直面したらどのように対処するのか」さらには「自分が思い描いた夢を実現するためには、どのようにコマを進めていくか」を生徒自身で組み立てる力をつけてもらいたい。そのような願いを持ちながら、最後の一日まで語りかけていこうと思います。

【2年・E組スキー移動教室】

2年生は1月22日（月）～24日（水）に上田市武石へ、E組は1月25日（木）～27日（土）に軽井沢へ、それぞれスキー移動教室へ行ってきました。出かける前は雪の少なさを心配していましたが、十分なコンディションで2泊3日の実習を楽しんできました。中にはスキーが初めてで、不安を抱えながら参加した生徒もいました。しかし帰校した生徒たちは「楽しかった」「もっとやりたかった」と、嬉しそうに話していました。今年度も、たくさんの思い出ができました。3学期はこのスキー移動教室での学びを生かし、4月からの新しいスタートが切れるようにしっかり準備してほしいと思います。



【1年「職業人に学ぶ」に向けて】

1年生は3月1日（金）に練馬区公認の「魔法使い（職業人の方々）」3名にご来校いただき、講話を受ける予定です。その事前学習として、魔法使いの方々の職業「味噌屋」「呉服屋」「パン屋」を中心とした職業調べを行い、クラスでプレゼンテーションを行いました。ただ情報を集めるだけでなく、どのようにまとめて、人に分かりやすく伝えるにはどうするか。それぞれのグループが工夫を凝らした模造紙を作成し、講話に向けて職業への理解を深めました。



【ほっとすルーム】

「ほっとすルーム」の開設をお知らせして、約5ヶ月が過ぎました。当初、準備は済ませたものの、利用してもらえるか不安でドキドキでした。でも、地域のスタッフの皆さんや先生方の応援のおかげで、部屋の雰囲気も暖かで柔らかくなり利用者も少しずつ増え、ホットしています。「不登校傾向の生徒の教室以外の居場所づくり」です。「一人一人の生徒の実態に応じてできること」を、ご家庭と一緒にさがしていきます。まずは、担任の先生にご相談ください。



【Sigfyの導入について】（再掲）

練馬区立小中学校では、家庭と学校をつなぐツールとして、保護者向け情報伝達サービス「Sigfy」を導入しました。学校からの諸連絡やお便りの配信、欠席や遅刻の連絡手段などとして活用する予定です。本校では1月末に生徒を通じて、練馬区教育委員会からのお知らせと共に、生徒一人一人の氏名と二次元コードが書かれている「ご利用登録のご案内」を配布いたしました。

この「Sigfy」について、南が丘中学校では3月から活用を始め、令和6年度からは本格運用の予定です。これまでプリントで配布していたお知らせや資料などについても、順次「Sigfy」を利用して配信することを計画しています。登録は2月22日（木）までとなっております。ご協力くださいますようお願いいたします。ご不明な点などございましたら、遠慮なく学校へお問い合わせください。